

岐阜ハートセンター便り



家族で心臓病を考える「第8回 ハートの日 in GIFU」を開催しました

CONTENTS

特集

第8回ハートの日 in GIFU 開催レポート

・ハート講演会

《不整脈と正しくつきあう》

特別公演「心房細動はここまで治せる」

参加型新企画「どきどきドキ♥これって不整脈？

みんなで不整脈を学びましょう」

座談会「不整脈と正しくつきあう」

・夏休み子ども体験学習会

・子ども体験コーナー

・健康イベント

◆健康ワンポイントアドバイス

◆栄養教室・運動教室のご案内

◆「あしの外来」のご案内



「第8回 ハートの日 in GIFU」を開 「家族で心臓病を考える」をテーマに、三世代



講師
横須賀共済病院 副院長
高橋 淳先生

日本で初めて心房細動のカテーテルアブレーション治療を行った名医。



座長
杉下医院 院長
杉下 総吉先生

郡上市で内科を開業。循環器専門医として心臓病などの治療に携わる。

ハート講演会 特別講演 「心房細動はここまで治せる」

世界で初めて「心房細動のカテーテル治療」に成功したフランス・ボルドー大学に留学し、日本における不整脈のカテーテル治療の第一人者である高橋先生から、一般の方にも分かりやすい、心房細動の現状、症状、治療法などを解説していただきました。

心房細動は女性よりも男性に多く、また、年齢とともに患者数も増えてきます。心臓病や高血圧、甲状腺疾患の人に多くみられるほか、アルコールの飲み過ぎ

も心房細動の原因になることを知った会場の方々は少し驚いた様子でした。

心房細動は症状や年齢などによっても治療法は異なりますが、当院でも行っているカテーテルアブレーション治療で、治る可能性がある病気です。最新の治療法を解説いただきながら、治療の選択肢はたくさんあるということ、主治医と相談し、治療方針を決めることで、安心できる生活が送れることを強調されました。

同時開催イベント

夏休み子ども体験学習会「病院」を知れば「病気」が見えてくる!

心臓の働きや仕組みを知ることができた「心臓ってなあ〜に?」、病院で働く人の1日の仕事や医者や看護師になった理由など、他ではなかなか聞けない話を聞くことができた「病院ではたらく人たち」、カテーテルシミュレーターを使った模擬手術を目の前で見せてくれた「心臓カテーテル手術ってなあ〜に??」が行われ、小学校5、6年生の子どもたちが興味を持って参加してくれました。

理学療法士にインタビュー。



当院の太田 秀彰 先生が模擬手術を披露。



大勢の親子で会場が埋め尽くされた。



会場に心臓の模型が回され、立体的に心臓の形を知ることができた。



脈の測り方を教えてもらい、はっきりと脈を感じることができた。



それぞれのコーナーの講師を務めてくださった当院の泉二 佑輔 先生、川村 一太 先生、川瀬 世史明 先生。

催しました。 でご来場いただきました。

開催日:平成28年8月11日(木・祝)
開催場所:じゅうろくプラザ
参加者総人数:1575名

ハート講演会 参加型新企画

「どきどきドキ♥これって不整脈? みんなで不整脈を学びましょう」

不整脈のエキスパートである土屋先生が「奥が深いんですよ」とおっしゃるほど、たくさんの種類があり、マイナスなイメージをもたれている不整脈。土屋先生は自身の不整脈体験の話も盛り込んで、身近な症状であることを出席者に感じていただきながら、基礎的な内容を分かりやすく解説してくださいました。

まずは実践として、会場にいる全員で脈を数え、正しい脈の測り方を知ることから始まりました。不整脈の種類は脈が

速くなるタイプ、遅くなるタイプ、“脈がとぶ”といった不規則なタイプなど、さまざまあります。この違いを知ってもらうために、土屋先生が太鼓を打って、脈の速さとリズムの違いを表現されました。

一言で不整脈と言っても幅広く、心配のないタイプがほとんどです。しかし、中には今すぐ精密検査が必要なタイプ、特に、明らかに速い脈や不規則に打つ脈がある場合は注意が必要であることを知ることができました。



講師
岐阜ハートセンター 副院長
土屋 邦彦先生

当院では主に不整脈治療を担当。
患者さま主体の治療を行う。



3名の心臓手術経験者が出演してくださいました。

見て!触れて!学べる! 子ども体験コーナー

カテーテル手術体験、検査体験、調剤体験など、実際の器具を使いながら病院の仕事を体験しました。



救急蘇生法講習会

AED操作説明や心臓マッサージを体験。万が一に備えた、救命措置についての講習会をしました。

協力:岐阜市消防本部



救命体験学習終了証を渡しました。



健康イベント

忍び寄るロコモティブ・ シンドローム!!

～メタボの次はロコモ!～

運動教室

「毎日の生活に“+10(プラステン)”の習慣を!」をテーマに、講義とストレッチの実演を行いました。



栄養教室

テーマは「予防のカギがプロテインフード」。栄養士手作りの試食弁当も用意されました。



「食欲の秋」の食べ方のコツ

おおた ひてあき
循環器内科 医長 **太田 秀彰**



暑い夏も終わり、秋の足音が聞こえてくる季節となりました。「食欲の秋」と言われるように、秋はおいしい食べ物があふれる時期となります。ただし、おいしいからと言ってどんどん食べてしまうと、生活習慣病（高血圧、脂質異常症、糖尿病）の危険性が増してしまいます。

予防のために、食事の時はよく噛んで、時間をかけて食べるように心がけましょう。コレステロールや飽和脂肪酸を多く含む動物性脂肪（肉の皮など）の摂り過ぎには注意してください。肉ばかり

にせず、魚や卵、大豆・大豆製品などのタンパク質をバランスよく摂るようにしましょう。ただし、タンパク質の摂り過ぎは腎臓に負担がかかりますので、腎機能が低下している方は注意が必要です。

また、野菜・海藻・きのこ類を毎日の食事に取り入れましょう。野菜などに含まれる食物繊維には血糖値の急激な上昇を抑え、カリウムには血圧を下げる効果があります。食欲の秋、少しの工夫で身体を健康に保ち、寒い冬へ備えましょう。

栄養教室のご案内

- 10月6日(火)
サプリメントや健康食品について知ろう
- 11月8日(火)
腎臓病の食事
- 12月14日(水)
運動と食事のタイミング
時間／14時半～15時半
※予約不要
場所／岐阜ハートセンター
1階 ハートホール

運動教室のご案内

- 9月21日(水)
腰痛体操
時間／15時～16時
※予約不要
場所／岐阜ハートセンター
1階 ハートホール

「あしの外来」のご案内

当院では毎週金曜日の午後に「あしの外来」を開設しています。「あしの外来」ではしびれ、痛み、冷え、むくみ、変形、色の変化、治りにくい傷など、あし（足・脚）に関するあらゆる症状について診察しています（図1）。

あしの症状を骨・関節の疾患を原因と考え、整形外科を受診される方も多いと思いますが、心血管（動脈、静脈）の問題で起こる症状も少なくありません。逆に内科では、骨・関節の問題に対して正しく対応されないこともあります（図2）。

当外来の目的は骨、関節、皮膚、脈管などさまざまな分野にわたる原因を鑑別した後、患者さまごとに適切な治療を提供することです。原因によってはそれぞれの専門医へご紹介いたします。どんなことでもあしに関してお困りの方は、一度「あしの外来」へお越しください。

あしの外来担当医（毎週金曜日13:00～14:30）

第1・2・4・5金曜日	形成外科	こもだ 菰田	※紹介状の有無にかかわらずお電話でご予約をお取りできます。 ※菊地医師は毎週火曜日の内科外来も担当しています。
第3金曜日	循環器内科	さくち 菊地	

図1:あしの症状(当院あしの外来調べ)

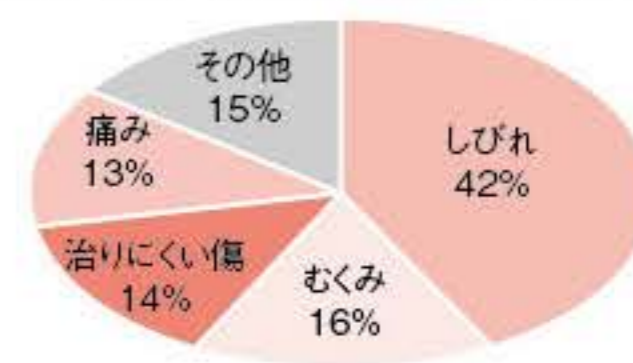


図2:原因疾患(当院あしの外来調べ)

